

叙 勲

(故)本名清紀さんに旭日単光章



▲勲記を受ける本名保美さん

元町議会議長の(故)本名清紀さんへの旭日単光章の伝達式が、12月8日に只見町黒谷の自宅で行われました。目黒町長から勲記、勲章などが(故)本名清紀さんのご遺族、本名保美さんに手渡されました。

本名清紀さんは、昭和47年4月に只見町議会議員に初当選され、平成4年4月までの通算5期20年間在職されました。その間、町議会議長や副議長をはじめ、文教厚生常任委員長、土木常任委員会副委員長を務められ、只見町議会及び地方自治の発展、町の振興に誠実な姿勢をもって尽くされました。

また、町森林組合理事や副組合長として森林事業の振興や向上にも貢献されました。

只見小学校が福島県教職員研究論文で特選

只見小学校(高橋吉博校長)の教育研究が、福島県教育委員会主催の平成22年度福島県教職員研究論文で特選となりました。特選は県内でも特に優れた団体2校、個人2名が受賞、只見小学校は団体の部門で選ばれました。

只見小学校は、国語科を研究主題とし、テーマの「子どものコミュニケーション能力を高める指導」について研究実践され、児童の自力解決の時間を「ひらめきタイム」として全学年に設定、個々の考えをもつため

の時間と場の確保に努め、また少人数で考えを交流する場「フレンドタイム」を設定し、児童の考えの相違点や共通点を確認したり自分の考えに自信をもたせたりする活動を展開されました。

さらに話したり聞いたりするための相手への思いやりを育て、豊かな人間関係を育む教育活動も展開されるなど、児童のコミュニケーション能力が向上した各種活動の成果が高く評価され、昨年の入選に続く受賞となりました。



▲賞状を手にする高橋校長と目黒町長(右)と齋藤教育長(左)

教育委員に辞令交付

12月定例議会において教育委員の選任について同意がなされました。新教育委員には、12月25日付けで小沼一弘さん(59歳・只見)が就任しました。

小沼さんの任期は、平成22年12月25日から平成26年12月24日までとなります。

就任にあたって小沼さんは、「只見町の教育発展のために頑張りたいと思います」と抱負を話されました。



▲新教育委員に就任された小沼一弘さん

学力向上の取り組み強化を考える
町内拡大校長会

12月1日に教育委員会で拡大校長会が開かれ、町内保育所長から小・中学校長、只見高等学校長が出席し、教育長はじめ教育委員会事務局職員と、今年度の学力向上の取り組みと課題について協議されました。

その結果、教師の指導力向上、家庭学習の工夫、定期的な到達確認テストなどで学習の定着状況を常に把握、保護者の意識の啓蒙を図る、読書の重要性の確認、特に、読書の習慣づけについては保育所から行うことなどについて、共通認識を持ち取り組むことを確認されました。



▲学力向上について話し合われた拡大校長会

ヨーロッパ文化から見た只見の自然と文化
特別講演会

講師に元フランス社会科学高等研究院教授のフランソワ・シゴール氏と、神奈川県文化研究所客員研究員の川田順造氏を迎え、特別講演会が12月10日、季の郷湯ら里で開かれ、町内外から約70名が出席されました。はじめに「道具・民具が語る人類文化」と題し、川田氏が講演、使う人の体形や生活環境の違いで道具も進化することなど、フランスやアフリカ、日本などの道

具の違いを解説されました。続いてフランソワ氏は「ヨーロッパ文化から見た只見の自然と文化」について講演、農具のカマを例に、日本やカンボジア、フランスなどの使い方や形の違いを解説、また農民自らが情報を収集し調査研究された只見方式の民具整理は他に例がなく本場にすばらしい活動と話されました。只見の民具はモデル的存在として研究者に注目されているとのこと。



▲農具について説明されるフランソワ・シゴール氏

第28回南会津地方統一防火標語で梁取竹子さんが最優秀賞

南会津消防設備協会と南会津地方広域消防本部が募集した第28回南会津地方統一防火標語コンクールで、梁取竹子さん（大倉）の作品が最優秀賞に選ばれました。

表彰式は12月15日に南会津地方広域消防本部（南会津町）で行われ盾などが贈られました。梁取さんの標語は今後一年間、防火ポスターなどに使用されます。只見町からは4名の方が優秀賞にも選ばれました。皆さんの作品は次のとおりです。

【最優秀賞】

「あぶないよ!!」

消したつもりの その油断」

梁取竹子さん（大倉）

【優秀賞】

「火遊びは

しまいさせまい 誘うまい」

星智恵子さん（小林）

「つなごうよ

心ひとつに 防火の輪」

栗城勝子さん（只見）

「最後まで

その火の始末 しつかりと」

菅家ミヨ子さん（只見）

【警報器

我が家の安心 みはり役」

山内美代子さん（梁取）

人権擁護委員に山内妙子さん



平成23年1月1日付けで山内妙子さん（梁取）が、只見町担当の人権擁護委員として法務大臣の委嘱を受けました。

人権擁護委員は全国の市町村に配置され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害

が起きないように見守り、人権を擁護する取り組みを行います。住民の皆さんにとって、人権に関する一番身近な相談相手となる人です。

只見町では、山内さんのほかに菅家達朗さん（黒谷）、藤田節子さん（只見）も人権擁護委員の委嘱を受けて活動しています。

「雪むすめ」に委嘱状交付

第39回只見ふるさとの雪まつりを盛り上げてくれる「雪むすめ」2名が決定し、12月21日に目黒町長から委嘱状が手渡されました。

今年の「雪むすめ」は「五十嵐舞さん（黒谷）」と「目黒里美さん（熊倉）」です。二人とも「雪まつりの魅力を伝えられるよう頑張ります」と笑顔で話しました。よろしくお願ひします。



▲五十嵐さん(左)と目黒さん(右)



▲最優秀賞を受賞された梁取竹子さん